

水道事業の経営分析

収益性を示す指標

項目	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	備考
総収支比率	%	104.06	105.26	104.94	費用が収益によってどの程度まかなわれているかを示す。100%未満の場合は、健全な経営とは言えない。
経常収支比率	%	104.14	105.32	104.99	営業活動及び営業外活動の費用が、営業活動及び営業外活動の収益によってどの程度まかなわれているかを示す。
営業収支比率	%	84.31	78.96	85.57	企業本来の活動とは直接結びつかない収支を除外して収益性を見る指標。100%未満の場合は、営業損失が生じていることを示
累積欠損金比率	%	0.00	0.00	0.00	営業収益に対する営業活動で生じた累積欠損金の割合。0%であることが望ましい。
不良債務比率	%	—	—	—	営業収益に対する不良債務の割合。不良債務が生じている場合には、早急に解消を図る必要がある。
自己資本回転率	回	0.079	0.074	0.082	一期間中の営業収益と資本との割合で資本の利用度を判断する数値。数値が大きいかほど資本が活発に利用されていることを示
総資本回転率	回	0.070	0.065	0.072	総資本の利用度を判断する数値。数値が大きいかほど総資本が活発に利用されていることを示す。
固定資産回転率	回	0.079	0.074	0.082	一期間中に固定資産の何倍の営業収益があったかを示す数値。数値が大きいかほど固定資産が有効に活用されていることを示
未収金回転率	回	5.100	4.630	5.101	未収金の回収状況を判断する数値。一般的に数値が大きいかほど未収期間が短く、未収金が早く回収されていることを示す。
総資本利益率	%	0.35	0.46	0.43	投下された資本と利益の関係から、経営の収益力を総合的に判断する数値。数値が高いほど、収益性が高い。

資産の状態を示す指標

項目	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	備考
企業債償還元金対減価償却費比率	%	44.43	47.00	47.11	投下資本の回収と再投資との間のバランスを見る指標。100%を越えると再投資に企業債等の外部資金に頼らなければならない。
有形固定資産減価償却率	%	47.19	46.41	45.20	減価償却の進み具合や資産の経過年数を判断する数値。数値の向上は、相対的に減価償却費の減少を意味するが、施設の老朽化の度合も示している。
当年度減価償却率	%	4.33	4.35	4.35	固定資産に投下された資本の回収状況を判断する数値。数値が大きいかほど資本として内部留保されていることを示す。

財務状態を示す指標

項目	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	備考
流動比率	%	343.03	391.81	447.11	短期債務に対する支払能力を示す。100%以上であることが必要であり、100%を下回っていると不良債務が発生していることに
当座比率	%	317.31	367.11	419.78	流動負債に対する支払手段としての現金預金、未収金の割合から短期債務に対する支払能力を示す。支払能力をより厳密に計
流動資産回転率	回	0.595	0.560	0.598	流動資産がどの程度経営活動に利用されているかを示す指標。数値が大きいかほど、流動資産が有効に活用されていることを示
自己資本構成比率	%	87.96	88.27	87.69	自己資本の調達度を示す指標。この数値が高いほど、他人資本が入らず事業経営が安定している。
固定資産構成比率	%	88.20	88.33	88.39	資産構成の適正度を判断する指標。一般に過大な固定資産は、固定費の増大と資金の固定化をもたらす、数値が低い方が柔軟な経営が可能となる。
固定資産対長期資本比率	%	91.35	91.04	90.75	固定資産がどのような財源で構成されているかを示し、事業の固定的・長期的安全性を見る指標。常に100%以下で、かつ低いことが望ましい。
固定比率	%	100.27	100.07	100.80	財務的安全性を判断する指標。100%以下であれば固定資産への投資が自己資本の枠内におさまっていることになる。
固定負債構成比率	%	8.60	8.76	9.71	他人資本の依存度を示す指標。自己資本構成比率とは逆の傾向を示す。

施設の効率性を示す指標

項目	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	備考
施設利用率	%	69.88	71.17	70.74	施設の利用状況を総合的に判断する指標。数値が大きいほど施設が効率的に利用されている。
最大稼働率	%	74.83	76.71	77.89	施設の利用状況を総合的に判断する指標。数値が大きいほど施設が効率的に利用されているといえるが、100%に近い場合は、安定的な給水に問題を残している。
負荷率	%	93.39	92.78	90.82	施設の利用状況を総合的に判断する指標。数値が大きいほど施設が効率的に利用されている。
固定資産使用効率	m ³ /万円	4.76	4.88	4.86	有形固定資産に対する年間配水量の割合から、施設の効率性を判断する指標。数値が高いほど効率性が高い。
配水管使用効率	m ³ /m	13.58	13.86	13.86	配水管が効率的に使用されているかを判断する指標。数値が高いほど効率性が高い。

生産性を示す指標

項目	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	備考
職員1人当たりの給水人口	人	4,595	4,480	4,986	損益勘定職員1人当たりの給水人口から労働生産性を判断する指標
職員1人当たりの有収水量	m ³	492,252	484,259	530,864	損益勘定職員1人当たりの有収水量から労働生産性を判断する指標
職員1人当たりの営業収益	千円	90,936	81,832	99,764	損益勘定職員1人当たりの営業収益から労働生産性を判断する指標
職員1人当たりの給水収益	千円	90,804	81,682	99,569	損益勘定職員1人当たりの給水収益から労働生産性を判断する指標
職員給与費対営業収益比率	%	8.16	8.89	8.00	職員給与費がどの程度経営要因になっているかを判断する指標

その他の指標

項目	単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	備考
給水原価	円/m ³	193.72	191.33	195.85	有収水量1m ³ 当たりの原価。
供給単価	円/m ³	184.47	168.67	187.56	有収水量1m ³ 当たりの売値。
料金回収率	%	95.22	88.16	95.77	供給単価と給水原価の関係を表しており、事業の経営状況の健全性を示す指標の一つである。100%を下回っている場合、給水にかかる費用が料金収入以外の収入で賄われていることを意味
利子負担率	%	1.95	2.33	2.52	有利子の負債及び借入資本金に対する支払利息の割合であり、外部利子の平均利率を示す。
繰入金比率（収益的収入分）	%	6.19	12.97	6.14	繰入金への依存度から経営状況の健全性、効率性を判断する指標。基本的には低い方が望ましい。
繰入金比率（資本的収入分）	%	7.77	10.65	10.17	繰入金への依存度から経営状況の健全性、効率性を判断する指標。基本的には低い方が望ましい。